

4.4 最近の改善のまとめ

2023 年 10 月から 2024 年 9 月までに実施した数値予報システム、数値予報プロダクトの変更を表 4.4.1 にまとめた。以下にこれらの概略を記す。

4.4.1 数値予報システムの変更

2024 年 3 月 5 日に局地数値予報モデル (LFM) について、3 時間毎の初期値 (00,03,06,09,12,15,18,21UTC 初期値) の予報時間を 10 時間から 18 時間に延長した。これにより、線状降水帯の半日程度前からの予測に LFM を利用することが可能になった。あわせて、雲物理・放射過程、力学過程の改良を行い、降水予測精度が向上した。

2024 年 3 月 5 日に全球・メソ・局地解析において米国の極軌道衛星 NOAA-21 の観測データを、さらに、メソ・局地解析において地上マイクロ波放射計の観測データを利用開始した。これらの観測データの利用により、モデルの初期値に水蒸気や気温の観測情報をより多く反映させることが可能となった。

4.4.2 数値予報プロダクトの変更

2024 年 3 月 5 日にメソ数値予報モデル GPV について、数値予報モデルを実際に計算する格子に対応したモデル面データのうち、地上から上空 5 km までに相当する地上面及び地上から 39 層のプロダクトを提供開始した。

表 4.4.1 2023 年 10 月から 2024 年 9 月までに実施した数値予報システム、数値予報プロダクトの主な変更

変更日	概要	参考文献
2024 年 3 月 5 日	局地数値予報モデルの改良及び予報時間延長	配信資料に関する技術情報 第 615 号 第 621 号
2024 年 3 月 5 日	全球・メソ・局地解析における新規観測データの利用開始	配信資料に関する技術情報 第 621 号
2024 年 3 月 5 日	メソ数値予報モデル GPV のモデル面データの提供開始	配信資料に関する技術情報 第 619 号